

平塚さんより 第2報 (09年1月16日)

# アレン倒れる！ 「多発性骨髄腫」 治療費カンパのお願い！

09年1月15日 アレンネルソン関西ネットワーク 平塚淳次郎

アレンネルソン氏が「多発性骨髄腫」というガンで「余命2～6ヶ月」とのメールを受け取りました。昨年秋の日本講演(10/1～12/4)の帰国後、食欲不振、体重の減退が起こり、年初めよりキングス郡立病院に検査入院していました。この1月末からの講演日程も組まれていた中での衝撃でした。

1995年の沖縄での少女暴行事件を機に爆発した「沖縄の想い」に込めて、96年、来沖したアレンは、自らの戦争体験に基づいて、その後全国各地で「命と平和の尊さ」についての揺るがぬ想いを、そして、初代ネットワーク大畑豊氏に教えられて初めて知った「日本国憲法第九条」と、それを活かすべき日本国民の「人類史的役割」を語り続けてきました。

ご存知のように、アメリカには日本のような健康保険制度が無く、医療費は莫大にかかります。アレンの労苦に報い、アネッタ夫人の苦境を支えるために、これまでのご縁をいただいた皆さんにご協力をお願いしたいのです。

全国的な専用口座の開設も手続き中ですが、当面、下記のいずれかに振込み願えれば幸いです。

- 1) 三井住友銀行逆瀬川(サカガリ)支店 4077520 アレンネルソン関西ネットワーク世話人 平塚淳次郎
- 2) 郵便振込口座 00930-3-264961 竹内能忠(タケウチノシタ) (=ネットワーク事務局)

アネッタ夫人からの通信(1/10付)の一部を紹介します

アレンのガンは彼がベトナムにいたときに起因しており、それは枯れ葉剤と関係している、ということ。体内に取り込まれた枯れ葉剤の毒は、何十年もかかって発病するのです。

私は、ニューヨークとニュージャージーにいる私とアレンの友人たちと支援グループを立ち上げ、アメリカ政府にアレンの状況を訴えようと思います。ベトナム戦争だけでなく、第二次世界大戦、そしておそらくは朝鮮戦争でも、戦争に行った男たちの中にはこの多発性骨髄腫で苦しんでいる人がたくさんいます。フロリダにはサポートグループがあり、そこにはアレンのような経験をした人たちが多くいます。

アレンの担当医から、アレンが入院している病院の同じ階には、彼と同じガン患者があと五人いると聞きました。

平和と政府補償、そして彼の治癒を求める闘いはまだ続きます。

どうか、私たちの信念と希望が生き続けますように。

アネッタより